【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公開番号】特開2005-211310(P2005-211310A)
【公開日】平成17年8月11日(2005.8.11)
【年通号数】公開・登録公報2005-031
【出願番号】特願2004-21615(P2004-21615)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成19年1月25日(2007.1.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技に関するメイン処理を実行する中央演算処理装置と、
前記中央演算処理装置で演算したデータの書き込みが可能な記憶手段と、
電源断の発生を検出する電源断検出手段と、
前記電源断検出手段で電源断の発生を検出すると、少なくとも前記中央演算処理装置および記憶手段に電源電圧を供給する補助電源手段と、
を備えた遊技機において、
前記メイン処理は、遊技に関する所定機能毎の複数個の処理を有するものであり、前記複数個の処理には前記記憶手段のスタック領域を使用する処理を含むものであり、
前記中央演算処理装置は、前記電源断検出手段での電源断検出によってメイン処理中にＮＭＩ（ノンマスカブル割込み）が発生すると前記メイン処理を一旦中断してＮＭＩ処理を起動し、前記ＮＭＩ処理後に前記メイン処理に戻って実行するものであり、
前記ＮＭＩ処理は、電源断の発生情報を設定し、ＮＭＩにより一旦中断された前記メイン処理における所定処理から継続するように前記メイン処理に戻るものであり、
前記メイン処理は、前記ＮＭＩ処理後に、当該メイン処理における一旦中断された所定処理を完遂し、その後に当該完遂後の遊技状態に関するデータの保存処理を実行し、その後に電源断状態となるものである
ことを特徴とする遊技機。
【請求項２】
請求項１に記載の遊技機において、
前記メイン処理は、前記複数個の処理たる第１処理から第ｎ処理（但しｎは自然数である）を一連の流れに従って繰り返し実行していくものであり、前記ＮＭＩ処理後に、メイン処理における一旦中断された当該所定処理から第ｎ処理までを完遂し、その後に当該完遂後の遊技状態に関するデータの保存処理を実行し、その後に電源断状態となるものである
ことを特徴とする遊技機。
【請求項３】
請求項１または請求項２に記載の遊技機において、

前記ＮＭＩ処理は、電源断の発生情報のみを設定し、メイン処理における、ＮＭＩにより一旦中断された当該所定処理から継続するようにメイン処理に戻るものである
ことを特徴とする遊技機。
【請求項４】
請求項１から請求項３のいずれか一つに記載の遊技機において、
前記メイン処理は、電源投入から通常処理に至るまでの初期処理と、前記初期処理後に続いて行われる、前記第１処理から第ｎ処理を含む前記通常処理とを備えている
ことを特徴とする遊技機。
【請求項５】
請求項４に記載の遊技機において、
第１識別情報を変動表示する第１識別情報変動表示手段と、
第１識別情報の始動条件の成立を検出する第１始動条件検出手段と、
前記第１始動条件検出手段での始動条件成立検出に基づいて、前記第１識別情報変動表示手段での第１識別情報を変動表示に関する指令を出力する第１制御手段と、
前記第１制御手段からの指令に従って前記第１識別情報変動表示手段を表示制御する第２制御手段と、
を備え、
前記第１制御手段は、前記中央演算処理装置および記憶手段を備え、
前記初期処理は、第１識別情報を消去し前記第２制御手段に第１識別情報に関する指令を非送信とする第１識別情報消去処理を備えている
ことを特徴とする遊技機。
【請求項６】
請求項５に記載の遊技機において、
前記保存処理は、
使用レジスタの退避処理と、
スタックポインタの保存処理と、
電源断通知コマンドを前記第２制御手段に送信する電源断通知コマンド送信処理と、
前記記憶手段の記憶内容の良否を判定するための判定値を設定する判定値設定処理と、
前記記憶手段へのアクセスを禁止するアクセス禁止設定処理と、
をその順に処理するものである
ことを特徴とする遊技機。
【請求項７】
請求項４から請求項６のいずれか一つに記載の遊技機において、
前記メイン処理は、電源断の発生情報が設定されているか否かを所定時間毎に判断し、設定されていなければ前記第１処理に戻り、設定されていれば前記保存処理に進む分岐処理を備えている
ことを特徴とする遊技機。